

# あなたの事業場の「水害リスク」を確認して下さい。

## ＜浸水被害への備え＞

直接的な浸水被害のほか、油流出など2次的な被害事例が発生しています。

まずは、あなたの事業場の「水害リスク」を調べてみましょう！！

## ＜あなたの事業場の「水害リスク」の確認方法＞

「水害リスク」は、滋賀県ホームページの「滋賀県防災情報マップ」で確認できます。右図のように、浸水深は地盤面から浸水時の水面までの想定の高さを表現しています。

事業場の「水害リスク」を確認し、災害に備えてください。

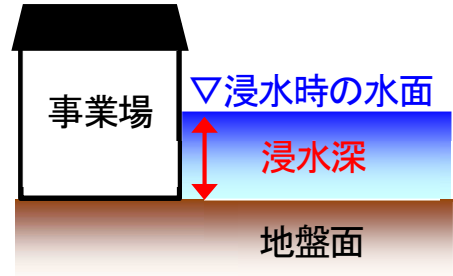


図1. 浸水深とは

## ▼ 滋賀県防災情報マップ <https://shiga-bousai.jp/dmap/>

**大雨が降った場合に想定される浸水深さ**

2階軒下	5.0m
まで浸水	4.0m
	3.0m
1階軒下	2.0m
まで浸水	1.0m
1階床下	0.5m
浸水	未満

解析対象外

図2. 滋賀県防災情報マップ（地先の安全度マップ）

滋賀県防災情報マップから事業場の地盤高や浸水深を確認する方法は次頁に記載しています。右のバーコードから見られます。➡



# あなたの事業場の「水害リスク」を確認して下さい。

## ＜滋賀県防災情報マップの水害リスクマップの種類＞

琵琶湖を含む県内の主要な16河川がそれぞれ氾濫したときの浸水深等をあらわした「洪水浸水想定区域図」とこれ以外の小さな河川や水路が溢れる“内水氾濫”もあらわした「地先の安全度マップ」が確認できます。

なお、この2種類の水害リスクマップを踏まえ、各市町が独自に「洪水ハザードマップ」を作成しています。(市町のホームページで見られます)

## ＜滋賀県防災情報マップの使用方法＞

確認手順①：滋賀県防災情報マップの水害リスクマップへ

[https://shiga-bousai.jp/dmap/map/index?l=M\\_r\\_k\\_risk\\_map](https://shiga-bousai.jp/dmap/map/index?l=M_r_k_risk_map)



確認手順②：画面左側の凡例から見たい図を選択する。

「地先の安全度マップ」

地先の安全度マップ

● 最大浸水深図 1/200年 解説

確率

200年に一度の大雨（時間最大131mm程度）の雨が降った場合

「洪水浸水想定区域図」

洪水浸水想定区域図(2017年以降更新)

● 草津川 想定最大規模 解説

想定最大規模降雨による浸水区域および水深

確認手順③：それぞれのマップの地盤高や浸水深を確認する。

「地先の安全度マップ」

地先の安全度マップ

● 最大浸水深図 1/200年 解説

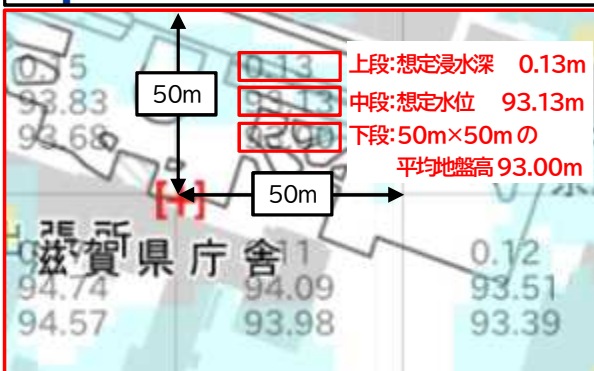
確率

200年に一度の大雨（時間最大131mm程度）の雨が降った場合

▶ 浸水警戒区域（外部リンク）

浸水深詳細200年確率

	上段: 想定浸水深[m]
	中段: 想定水位(T.P.+)[m]
	下段: 地盤高(T.P.+)[m]



「洪水浸水想定区域図」



図面名	琵琶湖 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)
河川名	琵琶湖 洪水浸水想定区域図
浸水深(m)	0.87
浸水深ランク	0.5m~1.0m未満
標高(m)	86.07 5m x 5mの平均地盤高
指定年月日	平成31年3月19日

＜問い合わせ先＞ 滋賀県 土木交通部流域政策局 流域治水政策室 077-528-4290